

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 22 年 1 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 21 年 10 月～12 月期の実績および平成 22 年 1 月～3 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	17 社	56.7%
水産業部会	30 社	16 社	53.3%
機械工業部会	30 社	18 社	60.0%
建設業部会	30 社	19 社	63.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	20 社	66.7%
合 計	150 社	90 件	60.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－業況はほぼ横ばい・来期は大幅な悪化見込み－

1. 全体の動き(業況)

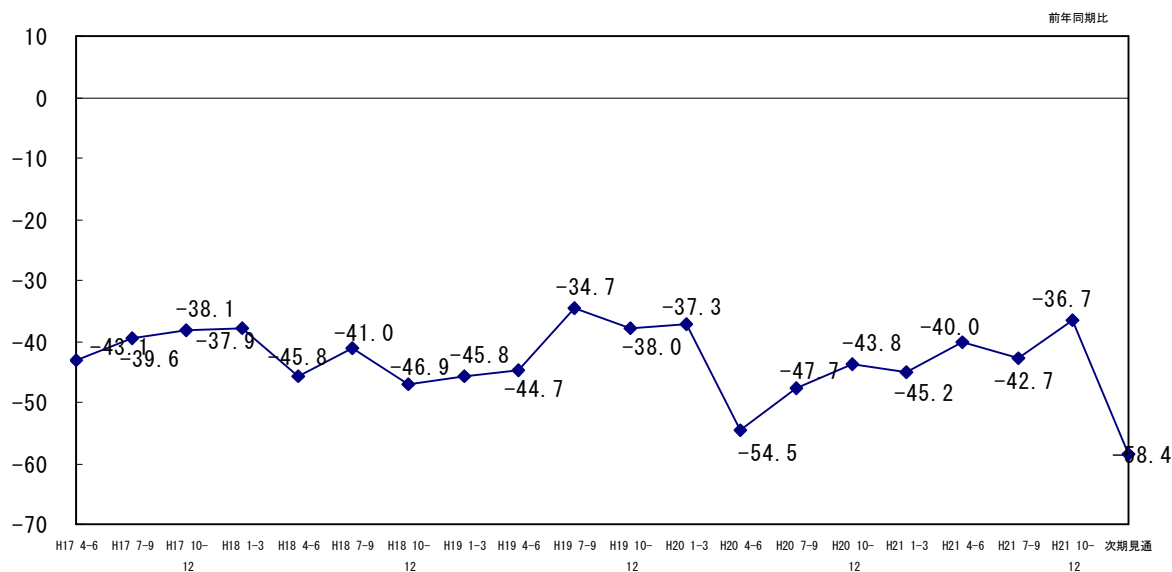
四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成21年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△36.7**と前回調査時の△42.7より**6.0ポイント改善**しました。ほぼ横ばいかやや改善傾向基調で推移しておりますが、全業種のDI値を見ますと、依然としてマイナス水準からは抜けられず、市内経済を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いていると思われまます。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前期△35.3→今期△41.2]、水産業 [前期△31.3→今期△18.8]、機械工業 [前期△50.0→今期△16.7]、建設業 [前期△33.3→今期△26.3]、観光・サービス・諸業 [前期△60.0→今期△75.0] となりました。今回の調査では、商業・食品業および観光・サービス・諸業の業況悪化が目立ちます。また、全業種の半数以上の企業が、次期売上見通しは悪化すると回答しており、経営内容が年明け後、一層経営が厳しくなっていくと判断されます。

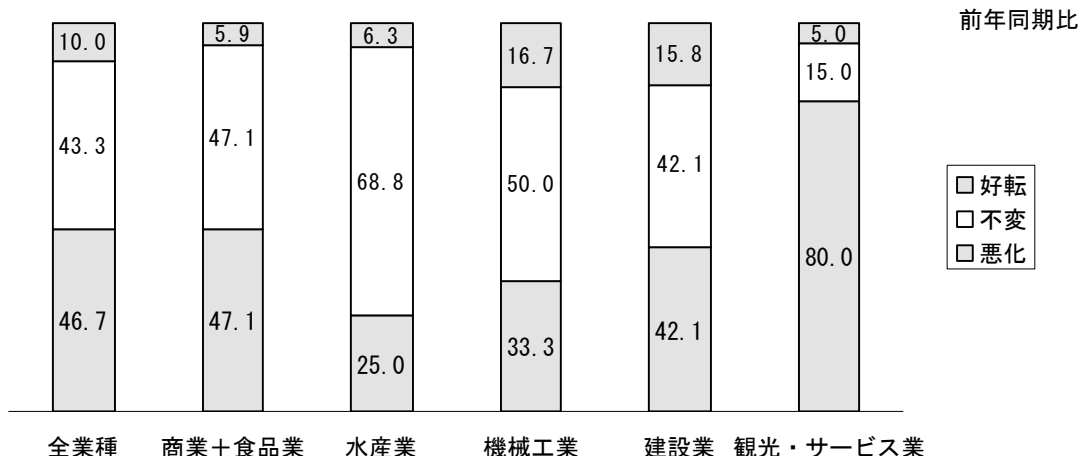
次期(平成22年1月～3月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIが21.7ポイント悪化(次期見通し△58.4)**するとの予測となっており、全業種において業況指数が50を超え悪化するとの見方が非常に強まっており、年度の終わる3月まで厳しい状況が続くものと思われまます。また、当所としては来年度以降の経済状況を見据え、景気対策関連融資を受けた事業所の今後の動向について注視して行きたいと思ひます。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、景気の低迷による需要の減退を訴える声が多く寄せられ、人口減の心配や売上の減少などに不安を訴える声がさらに増えています。設備投資については前期同様、依然慎重な動きが続いています。

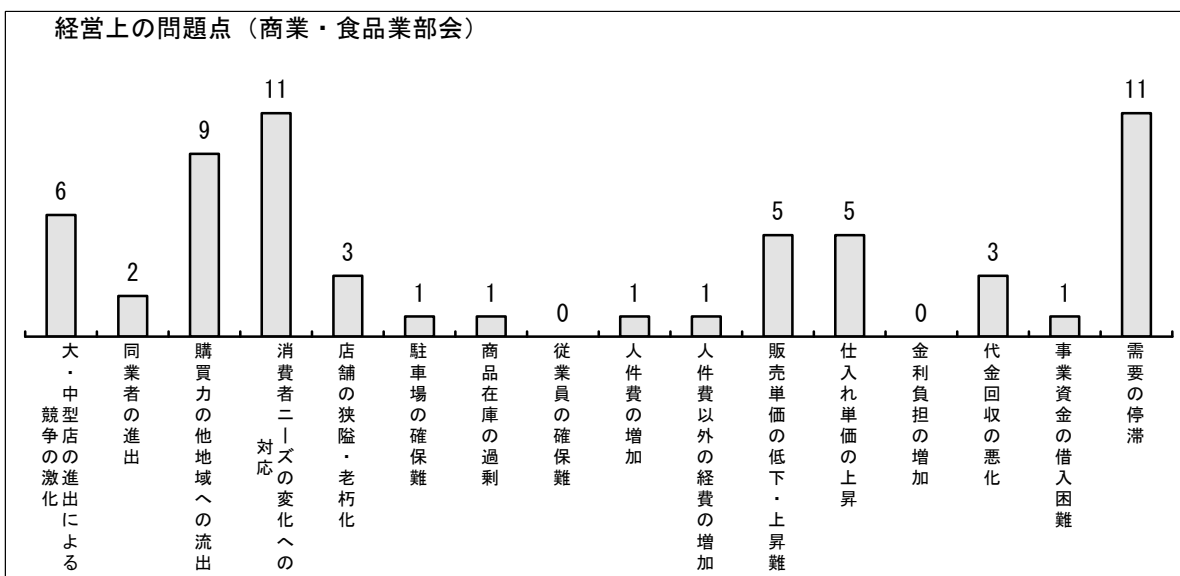
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 41.2$ （前期 $\Delta 35.3$ 、来期見通し $\Delta 58.8$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然厳しい状況で推移しています。年末商戦は思わしくない結果であったことが数字として表れております。経営上の問題点としては「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多くなっております。来期の見通しも悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・メーカー・卸・小売りの業界再編成による合理化で企業の成果主義。人から「しくみ」への変化、量販店商材へとシフトし、一般小売店の需要とのギャップがある。（小売）
- ・紋別市の人口と比例し、売上也落ちている。ここでの売上増は見込めない。売上が採算分岐点ギリギリの店ばかりである。いつシャッターを閉めてもおかしくない状況にある。（小売）
- ・本町通りに店舗がなさすぎ！又、空き地が多すぎ！人通りがない？本町は『商店外』？（小売）

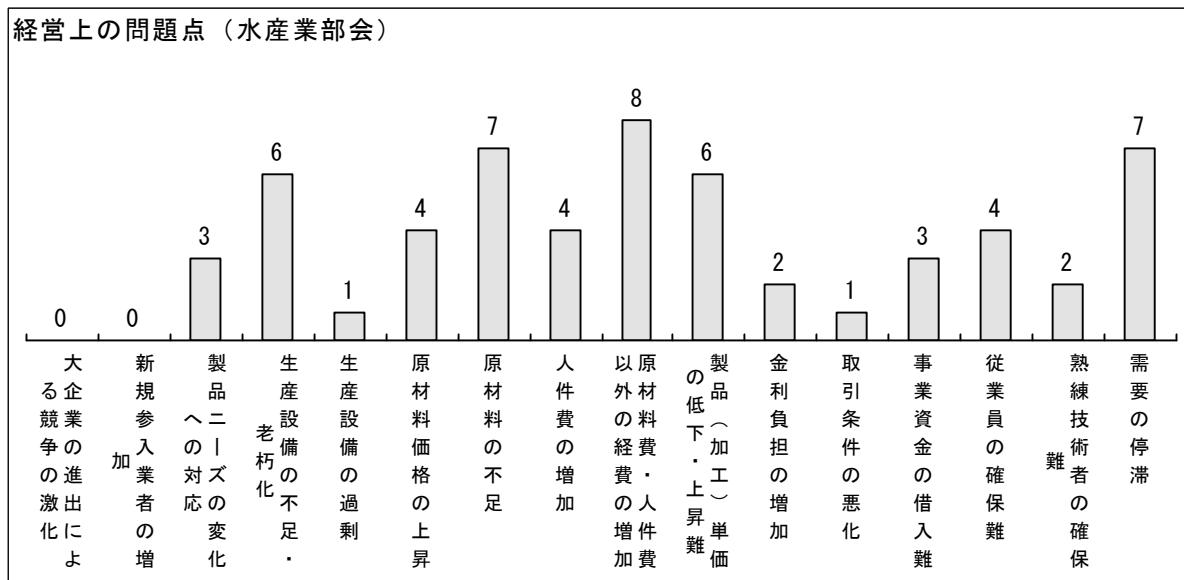


【水産業部会】 [業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 18.8$ （前期 $\Delta 31.3$ 、来期見通し $\Delta 43.8$ ）]

業況判断DI値（前年同期比）は12.5ポイント改善しています。前期報告の際、来期見通しは本格的な水揚げシーズンを期待して回復するだろうとの見通しが出ており、不漁と予測された漁獲量が思ったよりも良くなったこともあり、全体的に業況は改善という結果になった。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料費人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」を訴える声が多くなっており、来期の見通しもさらに悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・ 原料不足（水産加工）



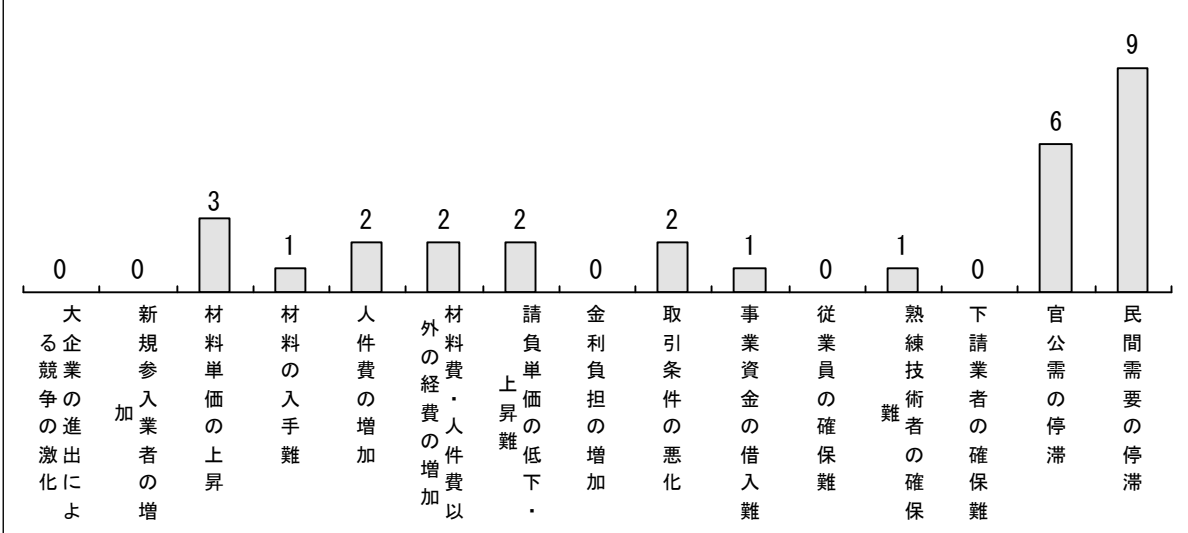
【機械工業部会】 [業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 16.7$ （前期 $\Delta 50.0$ 、来期見通し $\Delta 58.8$ ）]

業況判断DI値（前年同期比）は、前期比で33.3ポイント改善しているが、前期予想では自動車減税効果が薄れ業況見通しも悪いだろうと思われていたものの、実際にはその効果が徐々に現れ業況改善につながったのではないかと思います。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多くなっており、次期見通しは悪化するだろうとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・ 紋別市の人口密度の現状ではないでしょうか？（機械修理）
- ・ 若手の育成（機械修理）
- ・ 需要減少に係る売上の不振、取引先に対する与信不安が出てるのではないかと心配している。（加工業）
- ・ 人は減。消費動向の変化に対応すること。（自動車販売）
- ・ 運送業の不振（自動車修理）

経営上の問題点（機械・工業部会）



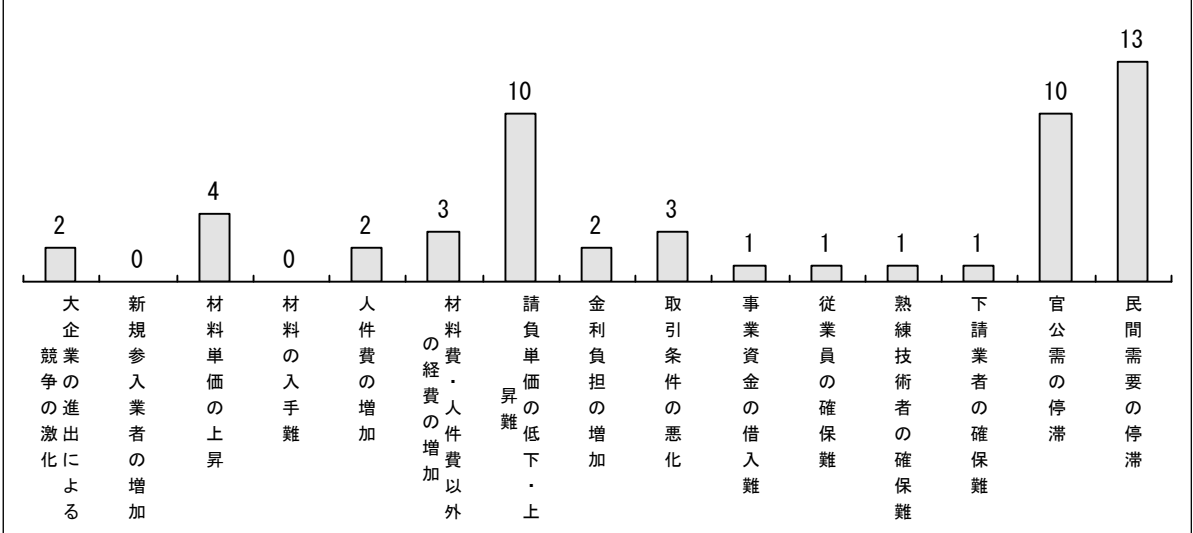
【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 26.3$ （前期 $\Delta 33.3$ 、来期見通し $\Delta 57.9$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期比7.0ポイント改善しています。土木業では夏に景気対策で出てきた公共事業を追い込みで行っておりそれが改善につながったよに見えますが、実際に会社関係者から聞いた話では、来年以降の公共事業削減が予想されており今後の経営をどうしたらよいか、従業員の生活をどう考えていけばいいか深刻に悩んでおりました。今後の土木建設建築業の動向に注意していきたいと思えます。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多くなっており、来期は極端に仕事の少ない冬期を迎えることもあり、見通しとしてはさらに悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・業界の問題ではなく、社会構造の変革による価値観の変化が問題である。（電気工事）
- ・22年度の公共工事の縮減が心配である。（建設）

経営上の問題点（建設業部会）



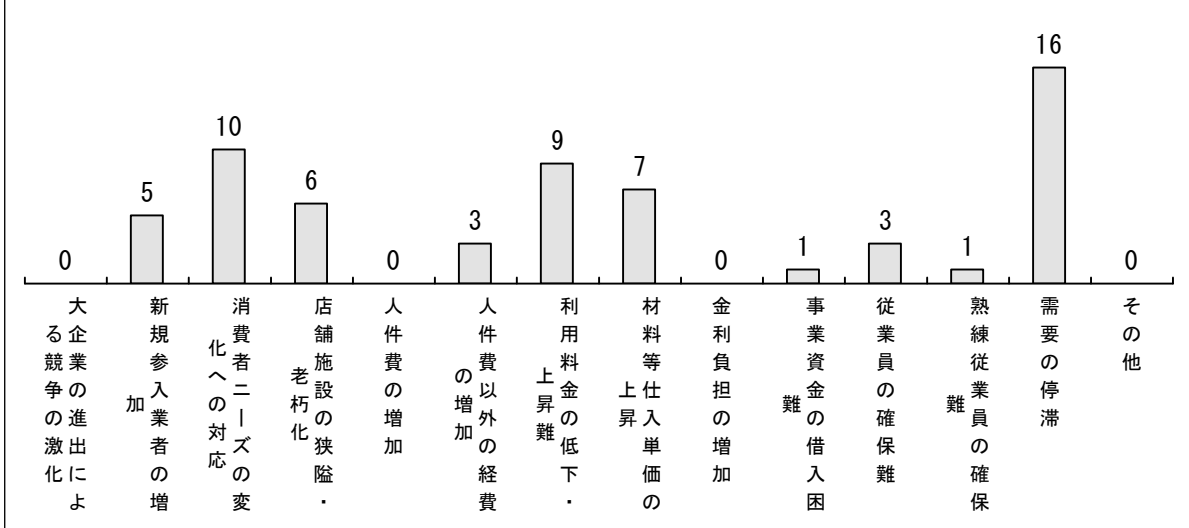
【観光・サービス部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 75.0$ （前期 $\Delta 60.0$ 、来期見通し $\Delta 70.0$ ）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期よりも15.0ポイントと悪化しており、景気の悪さを敏感に反映している数字だと思えます。忘年会シーズンも今ひとつ盛り上がり欠けた内容かと思えます。経営上の問題点としては、「需要の停滞」「消費者ニーズへの変化への対応」「利用料金の低下、上昇難」などを心配する声が多くなっており、来期の見通しは同じ水準で悪化するとの見方が強いです。

《業界の問題点等》

- ・ 一人の力ではどうしようもないところまで来ていると思います。この状態で生き残っていくか不安ですが、業界が一つになって他から人を呼びこむような“イベント”をしていくことも一つの方法かと思います。(飲食業)
- ・ 消費性向の減退。デフレスパイラル。(サービス業)
- ・ 景気の動向を把握して、設備投資を控え、節約でバランスを整え好転を待ちます。(運送業)
- ・ 日本全体が景気大回復して、国民の所得も増え、4000～5000円の料理でも当たり前前に抵抗なく食べてくれる事を希望しています。(飲食業)
- ・ 人口減少、少子高齢。(サービス業)

経営上の問題点（観光・サービス業部会）



2. 今期の動向

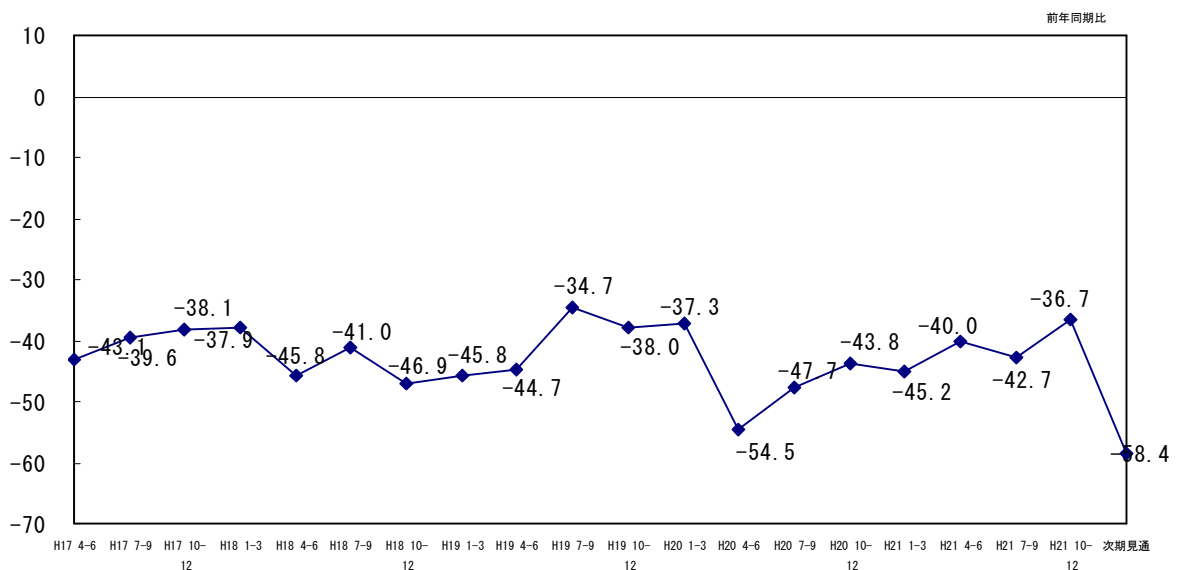
(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高）

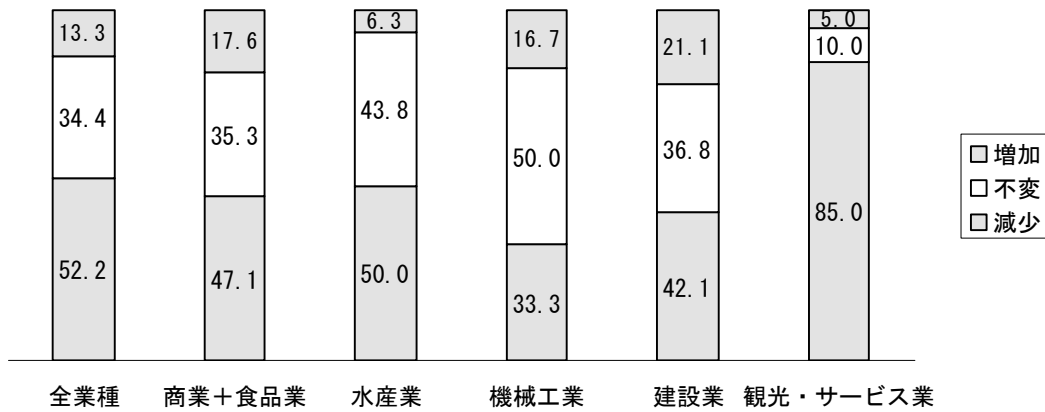
紋別商工会議所 景気動向調査（業況の推移）

（好転－悪化）

前年同期比



今期の売上高・生産高（前年同期比）

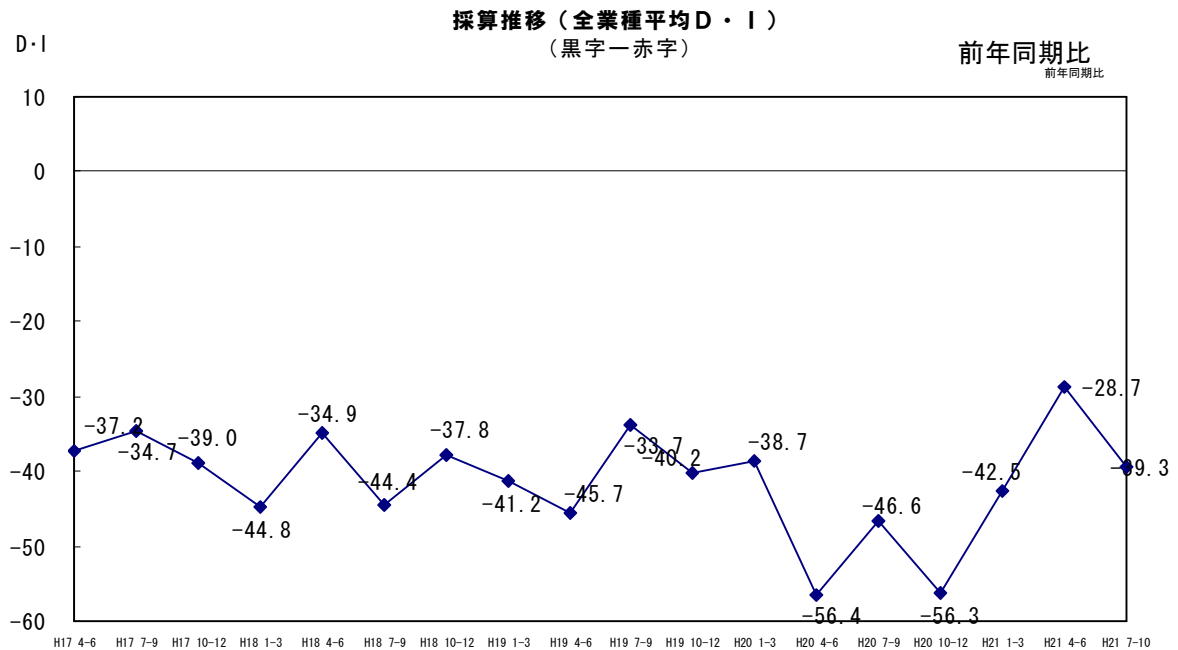


全業種平均でDI値 $\Delta 38.9$ 〔前回調査時(平成21年7~9月期 $\Delta 46.0$)より7.1ポイント改善。〕
来期は19.5ポイント悪化し $\Delta 58.4$ の見込み。

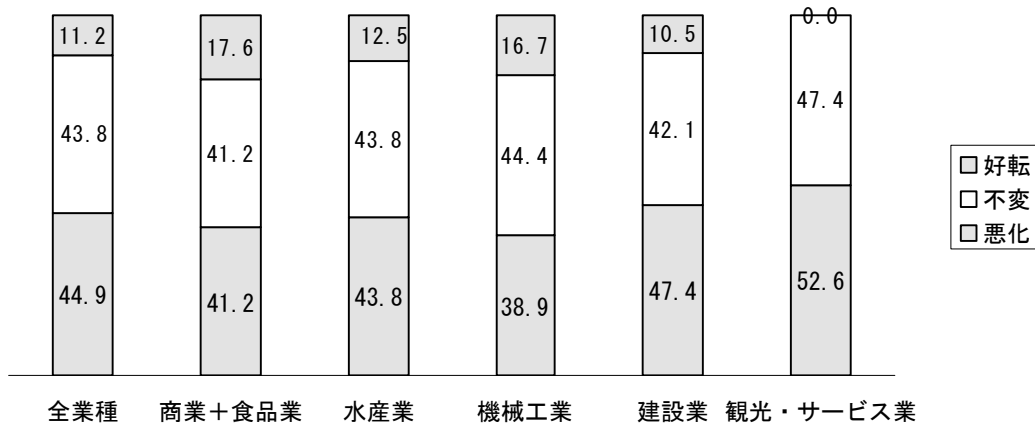
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 41.2 \rightarrow \Delta 29.4$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 37.5 \rightarrow \Delta 43.8$ 〕
機械工業〔前回 $\Delta 50.0 \rightarrow \Delta 16.7$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 38.9 \rightarrow \Delta 21.1$ 〕
観光・サービス業・諸業〔前回 $\Delta 60.0 \rightarrow \Delta 80.0$ 〕

(2) 今期の採算

【前年同期比】(平成20年10月~12月期の水準と比較した今期の採算水準)



今期の採算（前年同期比）

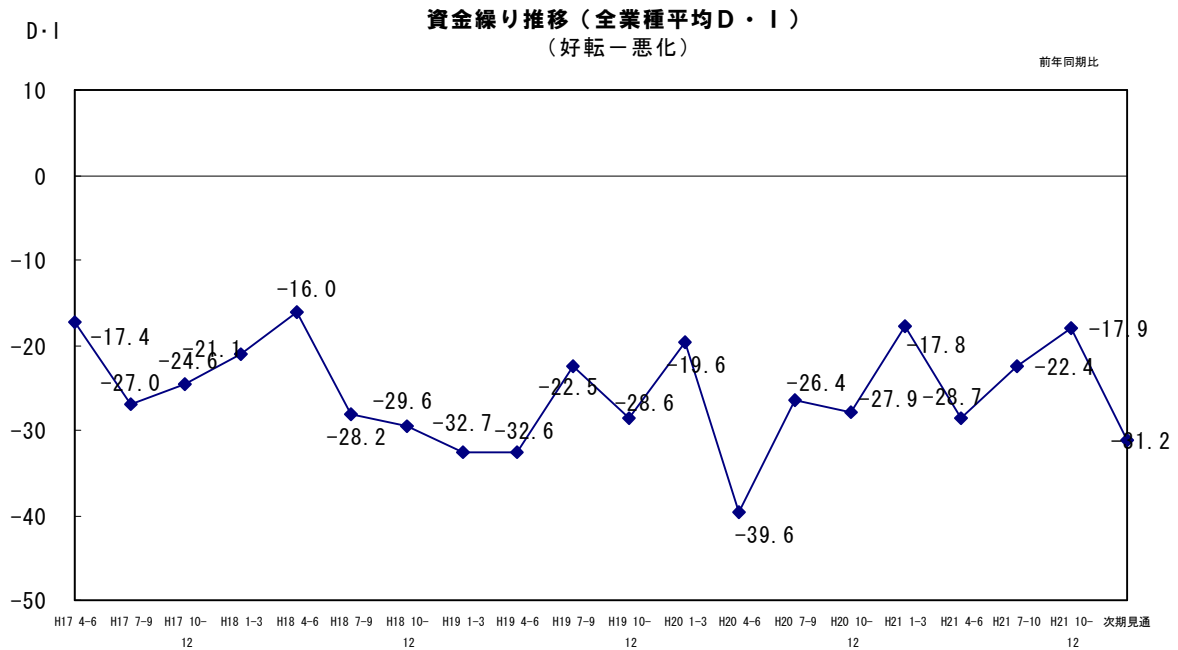


全業種平均でDI値△33.7〔前回調査時（平成21年7～9月期△39.3）より5.6ポイント改善〕

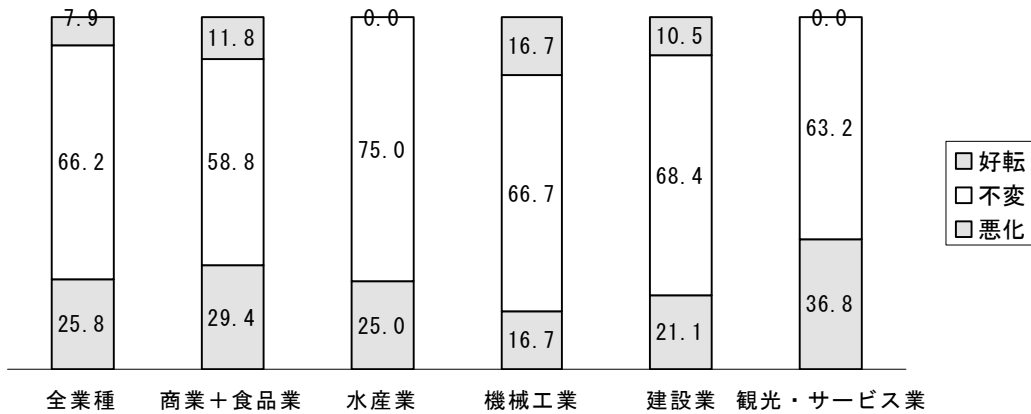
[部会別DI値] 商業・食品業〔前回△23.5→△23.5〕、水産業〔前回△25.0→△31.3〕
 機械工業〔前回△44.4→△22.2〕、建設業〔前回△50.0→△36.8〕
 観光・サービス業諸業〔前回△50.0→△52.6〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）前年同期比



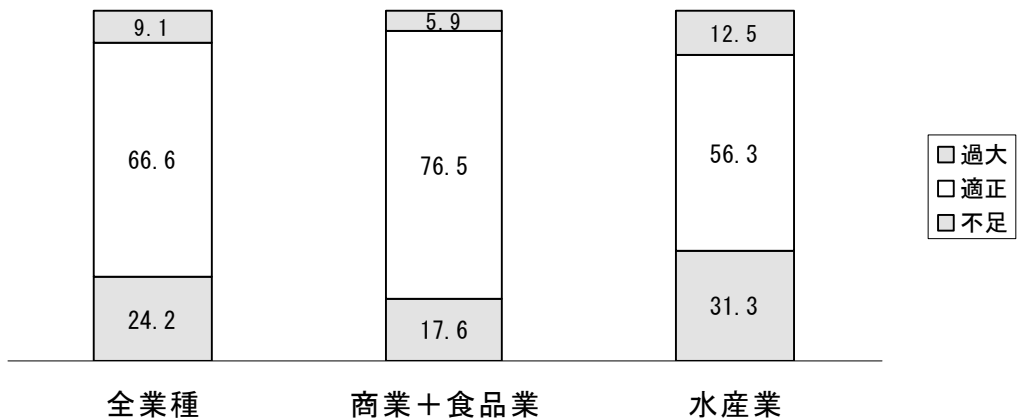
全業種平均でDI値 Δ 17.9〔前回調査時（平成21年7～9月期 Δ 22.4）より4.5ポイント改善〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 Δ 5.9 \rightarrow Δ 17.6〕、水産業〔前回 Δ 18.8 \rightarrow Δ 25.0〕
 機械工業〔前回 Δ 27.8 \rightarrow Δ 0.0〕、建設業〔前回 Δ 38.9 \rightarrow Δ 10.5〕
 観光・サービス業諸業〔前回 Δ 20.0 \rightarrow Δ 36.8〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

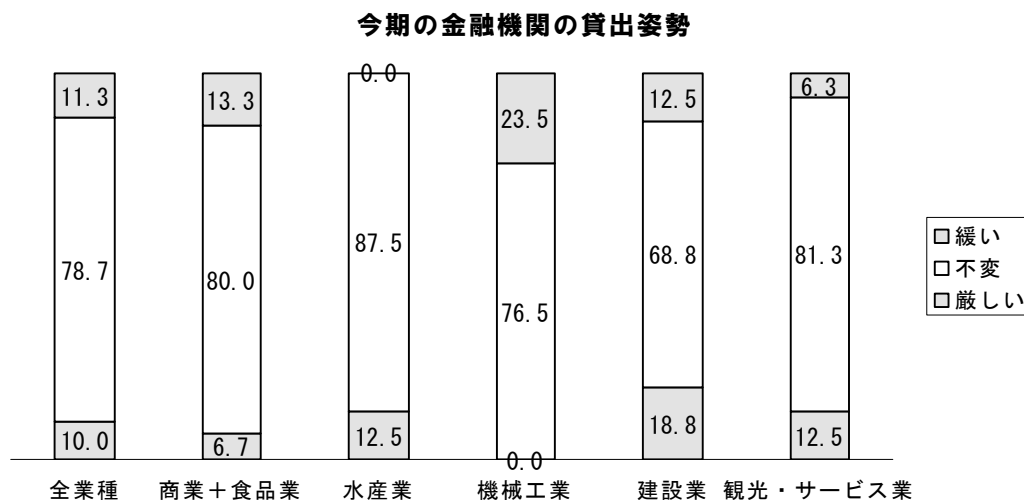


全業種平均でDI値 Δ 15.1〔前回調査時（平成21年7～9月期0.0）より15.1ポイント在庫減少〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 Δ 11.8 \rightarrow Δ 11.8〕、水産業〔前回9.5 \rightarrow Δ 18.8〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

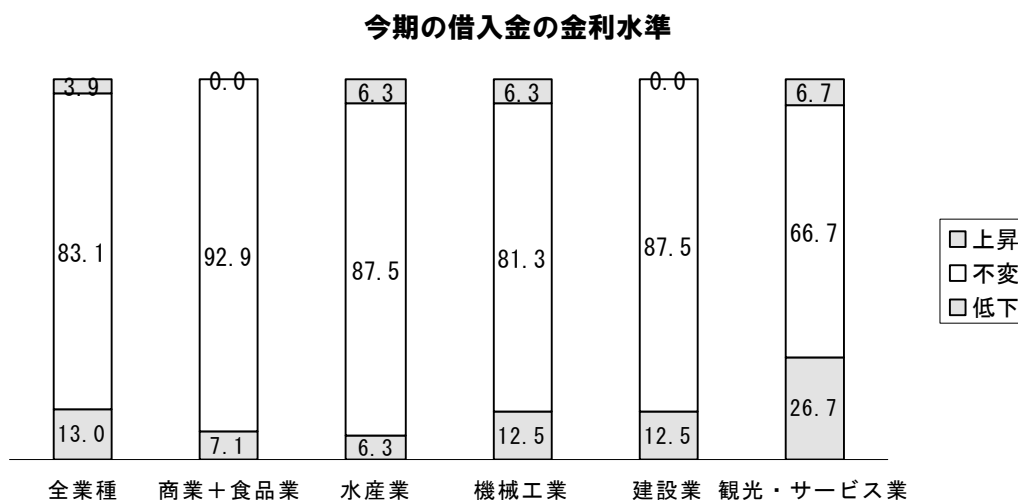
【前年同期比】（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で+1.3ポイント。商業食品業 6.7 水産業△12.5 機械工業 23.5 建設業△6.3 観光サービス業諸業△6.3。

(6) 今期の借入金の金利水準

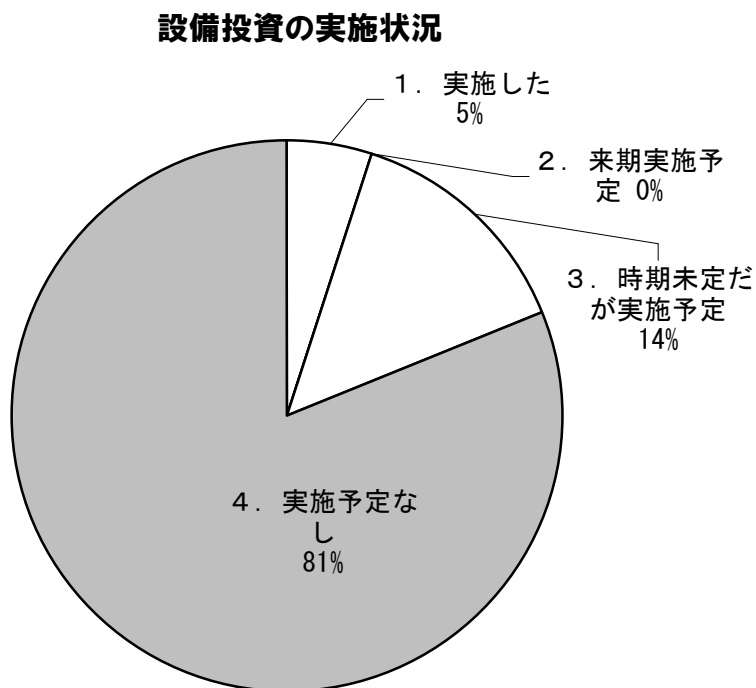
【前年同期比】（平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で△9.1。商業食品業△7.1 水産業 0.0 機械工業△6.3 建設業△12.5 観光サービス業諸業△20.0。

(7) 設備投資の実施状況

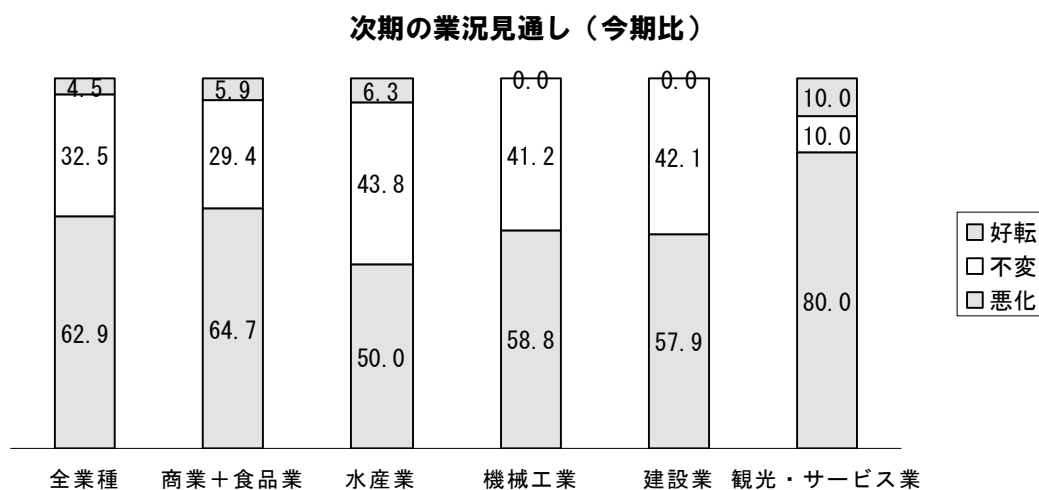
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成 21 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

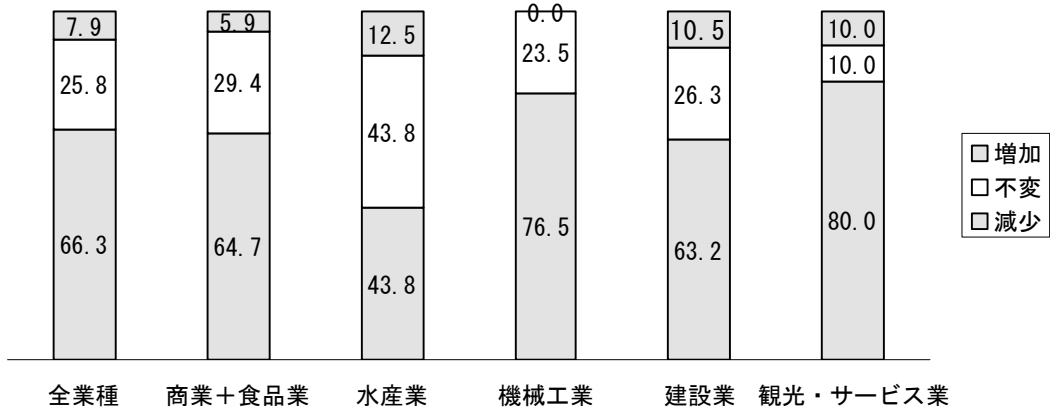


全業種平均 DI 値 $\Delta 58.4$ [今期の業況（前年同期比 $\Delta 36.7$ ）より 21.7 ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 21 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

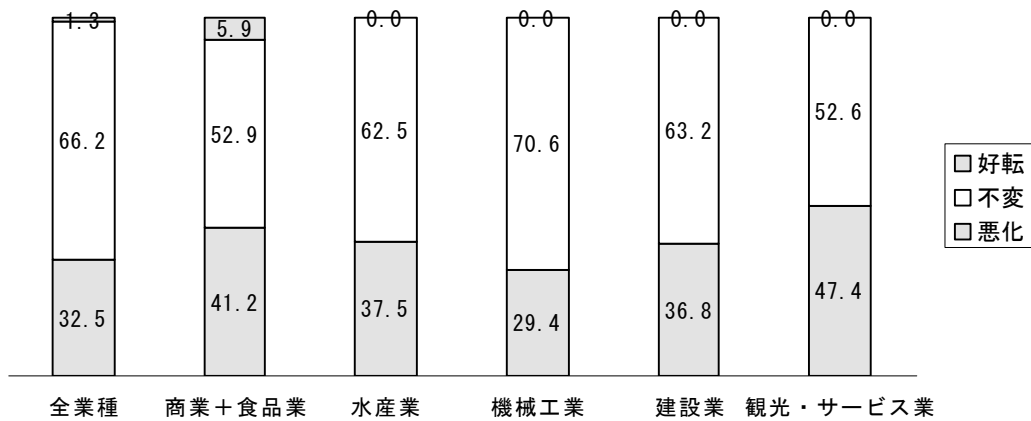


全業種平均 DI 値 $\Delta 58.4$ [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 38.9$ ）より 19.5 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 21 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 31.2$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 17.9$ ）より 13.3 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△36.7	△41.2	△18.8	△16.7	△26.3	△75.0
	来期見通し	△58.4	△58.8	△43.8	△58.8	△57.9	△70.0
売上 D・I	今期実績	△38.9	△29.4	△43.8	△16.7	△21.1	△80.0
	来期見通し	△58.4	△58.8	△31.3	△76.5	△52.6	△70.0
在庫 D・I	今期実績	△15.1	△11.8	△18.8	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△33.7	△23.5	△31.3	△22.2	△36.8	△52.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△17.9	△17.6	△25.0	0.0	△10.5	△36.8
	来期見通し	△31.2	△35.3	△37.5	△29.4	△36.8	△47.4
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	1.3	6.7	△12.5	23.5	△6.3	△6.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	△9.1	△7.1	0.0	△6.3	△12.5	△20.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。